

事務事業名	行政改革実施計画進行管理事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2080				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	財政行政課	課長名	保坂 正彦				
			所属担当	行政改革担当	担当者名	塩沢 直樹				
基本政策	基本計画体系	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		01 行財政改革の推進		01	一般	02	01	07	100	03
施策		02 行政改革の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 17 年度)		法令根拠	南アルプス市行政改革の推進に関する条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 平成22年度から平成26年度を計画期間とする『行政改革実施計画』に基づき、所管課において行政改革の取り組みを進めている。毎年度、進捗状況を取りまとめ、行政改革推進委員会に報告するとともに、市ホームページで公表する。 平成26年度は、第3次大綱・実施計画の策定を行なう。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				消耗品費	0					
							計	0		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	● 担当課に実施項目の進捗状況の確認・ヒアリング ● 進捗状況会議・報告 ● 改革項目の進捗状況アヒアリング、報告書作成、報告 ● 第3次行政改革大綱・実施計画策定
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	行政改革実施計画の実施項目
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	計画に掲げた目標を達成する
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	最小のコストで最大の効果を上げる行政運営の推進

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 進捗状況確認・ヒアリング	日
	イ 進捗状況会議・報告	回
	ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 行政改革実施項目数	項目
	イ	
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 改革項目の進捗率	%
	イ	
	ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 目標達成項目数	項目
	イ	

年間トータルコスト		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	8	0	0	19		
	事業費計(A)	千円	8	0	0	19	0	0	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	4	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	560	420	420	420		
		人件費計(B)	千円	2,549	1,911	1,911	1,911	0	0
	(A)+(B)	千円	2,557	1,911	1,911	1,930	0	0	
活動指標	ア	日	3.0	3.0	3.0	3.0			
		回	2.0	2.0	2.0	2.0			
		ウ							
対象指標	ア	項目	27.0	22.0	20.0	18.0			
		イ							
		ウ							
成果指標	ア	%	72.6	79.7	79.7	100.0			
		イ							
		ウ							
上位成果指標	ア	項目	3.0	2.0	2.0	18.0			
		イ							
		ウ							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成16年度に「南アルプス市行政改革大綱」並びに「南アルプス市行政改革実施計画」を策定し、市総合計画推進のため、最小のコストで最大の効果を上げる行政システムの構築を目的に開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	少子高齢化、人口減社会の到来で、国・地方を通じて財政状況は厳しさを増している。地方分権社会に対応し、自主自立の地域経営を進めるため、より積極的に行政改革に取り組みなければならない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	議会等から厳しい財政見直しを踏まえ、公共施設の再配置など抜本的な改革を進めていく必要があるという意見が多くなっている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	毎年度、改革項目の見直しを行なっている。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	改革項目の見直しを行った。

事務事業名	行政改革実施計画進行管理事業	所属部	総合政策部	所属課	財政行革課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 施策「行政改革の推進」の実施計画となる事業であるため、施策目的に直結している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 行政改革は行政が主導的に推進する必要がある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 本市にとって合併優遇措置が終了する平成30年度までの間、行政改革を推進し、効率的、効果的な行政経営の確立が求められる。行政改革実施計画を策定し、目標に向けた取り組みは維持する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 計画の最終年度となり、目標達成率が既に高まっているため、ある程度の向上とした。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 行革の計画性がなくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 進捗状況の把握が必要。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 経費は必要な事務経費のみで、執行している。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 「行政改革実施項目」は、所管課から進捗状況について報告を受け進行管理を行っているため、臨時職員対応、外部委託による進行管理は適さない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 「行政改革実施項目」は、市全体を対象とした行政運営・行政サービスの改善であるため、市民サービスの向上につながる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	24年度における各改革項目の進捗状況について取りまとめを行なったが、改革項目全体の6割が当初の計画どおり、或いはそれ以上に進捗しているとの結果となった。また、思うように進んでいない項目は、他団体や民間組織など第三者の影響によるものが多くを占める内容であった。 27年度から始まる第3次計画については、これまでの状況や今後の市の課題などを見据えた上で、市民にわかりやすく、検証が容易な改革項目の設定が望まれる。
② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について H26年度は、第3次実施計画を策定する予定だが、当面、重点を置く改革項目に絞り、計画を立てる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 なし	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑤																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑨																					